

HDM推進会（第 14回）／ごみゼロネット推進会（第 36回）議事録

開催日： 2011年（H23年）2月 28日（月）10:00～12:00

場所：ウエスト

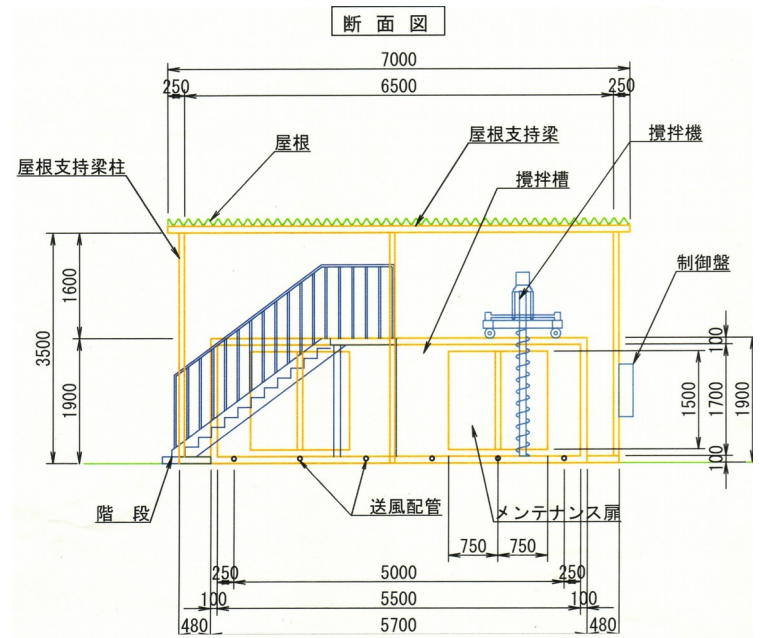
出席者：大橋、杉本、市原、加賀谷、川村、多田、桐生（作成）

議題：

1. HDM-HSM200装置の評価（全員）

フォレスト社竹井社長から小金井市に提供された図面及びブスライド、動画等を見ながら、装置の全容と問題点等を洗い出すための討論を行った。以下はその過程で出てきた意見の要約。

- 攪拌スクリーは土木で無振動工法である窄孔成形杭工法に使用するアースオーガのものと同系統である。動画から判断すると、攪拌性能は非常に良いようだ。
- 右図の製品は、人が階段を上ってバケツの生ごみを菌床上に撒布している。動画で見た別の製品では、長手方向の両側のレールの右端にオーガが退避して、左側からホッパーを載せた台車が生ごみを自動撒布するようになっていた。



- 攪拌槽は現地の事情に合わせて任意の寸法で製作できる。上図は菌床体積 20 m^3 で $200 \text{ kg} / \text{日}$ であるが、攪拌槽の規模を大きくすれば、そのまま処理量も大きくなる柔軟性が好ましい。
- 攪拌槽の底面も鉄板にすれば、固定式でなく可搬式にもなり得るようだ。
- 臭気を感じ方は人によって異なるので、安易な取り組みは危険である。環境博への出展は「この臭気ではちょっと」という評判であった。

2. 分別収集の検討（全員）

非常に多様な意見が出され、侃々諤々の討議(抗酸化バケツ、抗酸化酵素塗布ポリ袋、新聞紙による脱水、その

他が飛び交って、集約できなくなった)となった。

結論として、ごみ対策課の中福Cがこの問題で貴重な経験を積んでおり、造詣が深いので、彼から意見を引き出すように議事を運びたいということになった。

以上

行政との次回打合せ：市役所本町暫定庁舎第一会議室 3月1日（火）10:00～12:00

行政との次々回打合せ：ジャノメ跡地缶処理工場で現地立会の後、桜並集会所で討議

3月18日（金）10:00～12:00

HDM推進会（第15回）：ウエスト

3月14日（月）10:00～12:00

